

令和元年度 第5回宇都宮市行政改革大綱策定懇談会 会議記録

■ 意見の募集期間

令和2年2月28日から3月9日

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、委員が参集する形式の会議を中止し、委員からファックスやEメールで意見等をいただく形式に変更いたしました。

■ 委員

阿久津委員，入江委員，岩井委員，臼井委員，大澤委員，大島委員，太田委員，小栗委員，片山委員，神林委員，木村委員，児玉委員，坂本委員，仙波委員，中村委員，丹羽委員，畠山委員，檜原委員，藤井委員，古澤委員

(五十音順)

■ いただいた御意見

委員

- ・ 総合計画と行政改革大綱の違いがわかりづらく、委員全員が共通認識のもとに議論を交わすことが難しかったと思われる。また、「基本方針」の議論が中心であったため、具体的なイメージが持ちづらかったと考えられる。今後、事務局で策定を予定している、具体的な取組を定めた「アクションプラン」と同時に議論してもよかったのではないかと。

事務局

- ・ 次期方針等の策定において、参考とさせていただきます。

委員

- ・ ICTの普及においては、人材育成が重要であり、特に学校教育において、ITを活用できる環境づくりが必要であると考えます。また、各世代のITの活用能力等を考慮した上で推進することが必要である。
- ・ 災害の対応については、実践行動できるよう公・共・私の連携強化が必要と考える。

事務局

- ・ 今回策定した基本方針において、「先進技術の利活用の推進」を重点的な取組に位置付けておりますことから、今後策定する「アクションプラン」への取組計上を検討してまいります。
- ・ 御意見を踏まえ、「アクションプラン」への取組計上を検討してまいります。

委員

- ・ 重要な行政経営資源の一つである市職員数については、人口減少や少子高齢化が進行する中、職員数に関する取組の方向性を定めて、取り組んでいく必要があります、この方向性によっては、アクションプランの内容は大きく変わっていくのではないかと。

事務局

- ・ 「行政経営基本方針」を具現化するための方針として、今後の行政需要に迅速かつ的確に対応できる体制整備の指針となる方針を策定したところであり、それぞれの方針を踏まえながら具体的な取組を検討してまいります。

委員

- ・ 「基本方針」には、ICTやAIの活用が重要な柱として盛り込まれており、ICTやAIの活用については、職員や懇談会委員などが、小さなことでも可能な範囲で役割を果たすことが重要である。

事務局

- ・ 「基本方針」は、これからの社会や暮らしに合った公共的サービスを実現するために市が取り組むべき行政経営・行政改革の基本的な考え方・あり方を示す方針であって、庁内全部局・全職員が業務執行において踏まえるべき基本的な方針でありますことから、職員一人一人がこの基本方針に基づき、役割を果たすことができるよう努めてまいります。

委員

- ・ 人口減少や高齢化が進行する現状を踏まえ、「目指すべき方向性」の「持続可能な行政経営基盤 (2) 健全な財政基盤の確立」の中に「生産年齢層の対策 (魅力ある街づくりと連携したI・Uターンの促進)」を加えてはどうか。

事務局

- ・ 「第6次総合計画」では、将来のうつのみや像 (都市像) の実現に向け、人口減少・人口構造の変化に対応する「まちづくり好循環プロジェクト」を掲げており、これらの実現に向けた施策・事業を支え、持続可能な行政経営を確立するため「基本方針」を着実に推進してまいります。

その他委員

(意見なし)